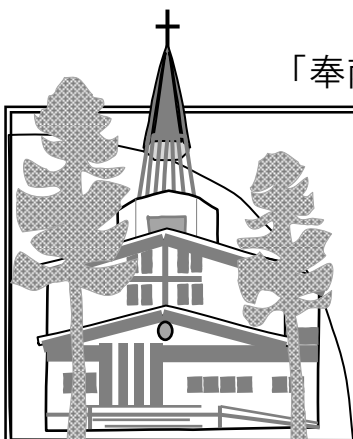


「奉献生活の年」



週報

カトリック 園田教会

B年

2015年
7月26日(日)

No. 1962



年間第17主日

ミサ 9:00 アウディシオ神父
(初ミサ) ゲン・シン・サック助祭

今日の聖歌と祈り

入祭の歌 : 典礼聖歌 63 神は恵みと あわれみに満ち

答唱詩編 : 「聖書と典礼」をご覧ください

アレルヤ唱 : 「聖書と典礼」をご覧ください

奉納の歌 : 典礼聖歌 405 ひとつに なるう

主の祈り : プリント 主の祈り

拝領の歌 : プリント 五つのパン

皆で唱える祈り : カードまたはプリント
新生計画20年の祈り・新生の祈り

閉祭の歌 : プリント あなたに 愛されて (1, 3番)

今日の典礼奉仕者

先唱	田口
第1朗読者	山下(壮)
第2朗読者	本田
共同祈願・意向担当者	① 田中 ② 長岡 ③ 市瀬 ④ 佐藤
奉納と献金	ベトナム人会
典礼当番	細木
オルガン奉仕者	石垣、田中

今日の行事・他

- ・ゲン・シン・サック助祭のお祝い茶話会
- ・日曜学校(信仰教育):夏休み(8月30日まで)
- ・総務委員会(茶話会后)
- ・サン・ジュゼッペ聖歌隊練習(茶話会后)
- ・阪神地区典礼委員会(宝塚教会 14:00~)

お知らせ

- ・2015年 8月度 行事予定表をお持ち帰りください。
- ・教会連絡網の更新をいたします。
新たに記載を望まれるかた、連絡は欲しいが不記載を望まれる方、また不記載を望まれる方は連絡網更新用紙に記入の上、ご連絡ください。担当 馬場 まで。

聖霊のたまもの 〔上智〕

聖霊の第一のたまものは上智(sapientia)です。しかし、上智とは、単なる人間的な知恵ではありません。それは知り、体験することからもたらされます。聖書は語ります。ソロモンは、イスラエルの王とされる際に、知恵のたまものを願いました(列王記上 3・9 参照)。彼が願った知恵とは、すべてのことを神の目をもって見ることのできる恵みです。それは単純に、神の目をもって、世界とその状況、ありさま、問題のすべてを見ることです。これが上智です。わたしたちは時として、自分の好みや心の状態、すなわち愛と憎しみ、嫉妬などに従ってものごとを見ます。しかし、これは神の目ではありません。上智とは、すべてのことを神の目をもって見るようにする、聖霊のわたしたちの中での働きです。

いうまでもなく、上智は神との親しい関係からもたらされます。・・・わたしたちが主との交わりのうちにあるとき、聖霊はいわばわたしたちの心を造り変え、ご自分のぬくもりとわたしたちへの愛を余すところなく感じさせてくださるのです。

こうして聖霊はキリスト信者を「知恵ある者」とします。しかしそれは、キリスト信者がすべてのことに対して答えをもっているとか、すべてを知っていることを意味するものではありません。「知恵ある者」であるとはむしろ、神について「知っている」こと、神がどのように行われるかを知っていること、何が神に由来し、何が神に由来しないかをわきまえることです。・・・

家に何人かの子どもがいるお母さんのことを考えてみてください。一人の子どもが何かをすれば、もう一人は別のことを考えます。お母さんは子どもたちの問題を抱えて、ここかしこ走り回ります。しかし、お母さんが疲れて、子どもたちを叱りつけるのが、上智でしょうか。・・・もちろん違います。お母さんが子どもを抱いて、優しく「こんなことをしてはいけませんよ。なぜなら……」といて論し、忍耐強く説明するなら、それは神の上智ではないでしょうか。そのとおりです。聖霊が生活の中でわたしたちに与えてくださるものです。・・・これこそが上智のたまものです。・・・

(教皇フランシスコの一般謁見演説(2014.4.10)から)



今週の暦

7月27日(月) 集会祭儀 6:30～

7月28日(火) ミサ 6:30～ ボナツィ神父

7月29日(水) 《記》聖マルタ
ミサ 6:30～ ボナツィ神父

7月30日(木) ミサ 6:30～ ボナツィ神父

7月31日(金) 《記》聖イグナチオ(ロヨラ)司祭
ミサ 6:30～ 永富神父

8月1日(土) 《記》聖アルホンソ(リゴリ)司教教会博士
ミサ 7:00～ ボナツィ神父
・教会清掃(総務第1週)

8月2日(日) 年間第18主日
ミサ 9:00 ボナツィ神父
・シモン会

